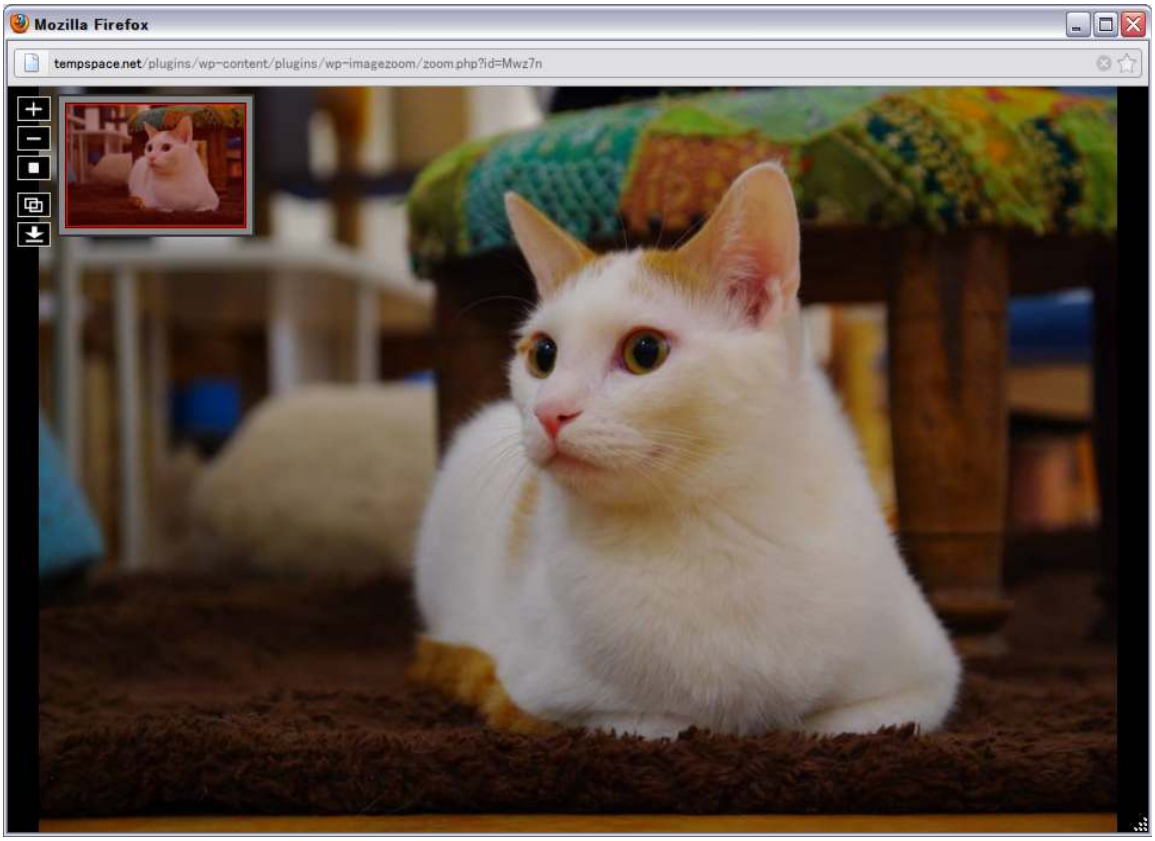
Wordpress 用 画像ズームプラグイン(WP-ImageZoom Ver1.0)使用説明書

■機能

- Wordpress の記事や固定ページ上のサムネイルをクリックすると、別ウインドウが開き、オリジナル画像の拡大表示が可能。
- ズーム倍率はデフォルトで元画像の原寸大まで拡大可能だが、設定を変更することにより、更に大きく拡大可能(その場合は画像がぼける)。
- ダウンロードボタンで元画像をダウンロード可能。当該ボタンは設定により表示させないこともできる。
- Google Maps のように、いくつかの縮尺の画像をタイル状に分割させた画像のデータをキャッシュとして保持することにより、大きいサイズの画像の部分拡大表示を比較的素早く行うことができる。但しキャッシュにない画像を見る際は、データ構築のため表示までに少々時間がかかる。

■使用方法(サイト閲覧者)

Wordpress の記事や固定ページ上のサムネイルをクリックする。本プラグインのズーム機能が有効な画像の場合、下記のようなズーム用の別ウインドウが画面いっぱいに開く。



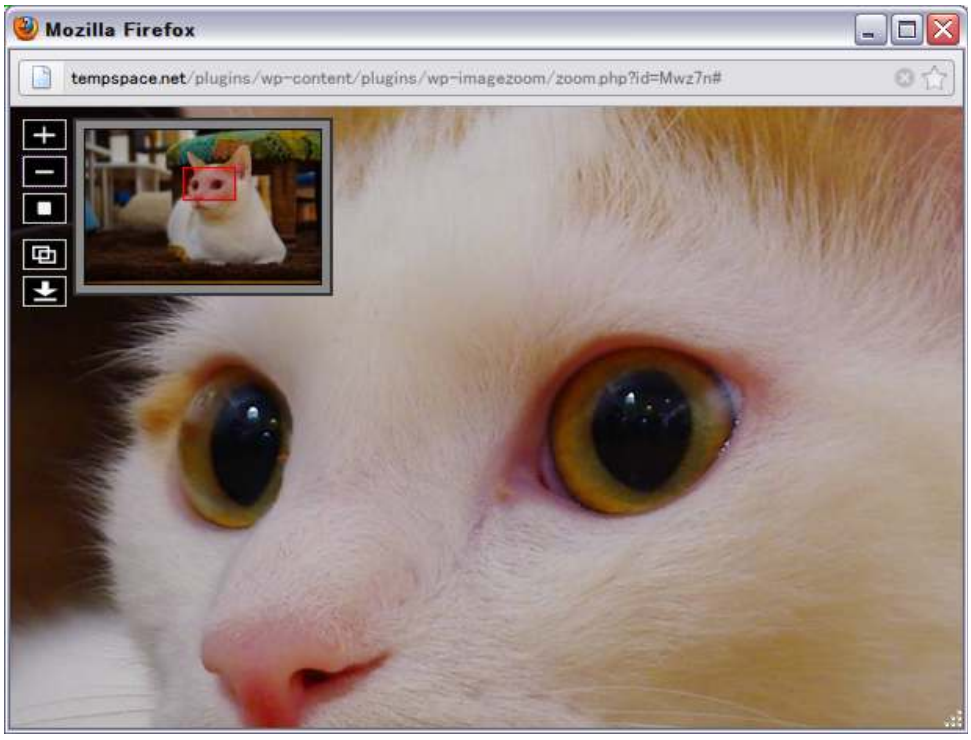
左上に表示されるコントロールを操作して使用する。

(各ボタンの説明)

ボタン	説明
	拡大表示する。1 回押したときの拡大率は設定変更可能(デフォルトでは縦横30%拡大)。
	縮小表示する。1 回押したときの縮小率は設定変更可能(デフォルトでは縦横30%縮小)。
	表示サイズを初期状態に戻す。ウインドウ内に画像全体が表示されるサイズとなる。
	サムネイルの表示・非表示を切り替える。
	オリジナルの画像をダウンロードする。(このボタンを表示させないよう設定することも可能。)

(表示領域の移動)

サムネイル内の赤枠が表示領域を表す。この赤枠をドラッグすることにより、表示領域を移動させることができる。また、画像を直接ドラッグすることも可能。



(サムネイルの移動)

サムネイルの枠(グレーの部分)の位置にマウスポインタを合わせ、ドラッグすることによりサムネイルを移動可能。

■使用方法(サイト制作者)

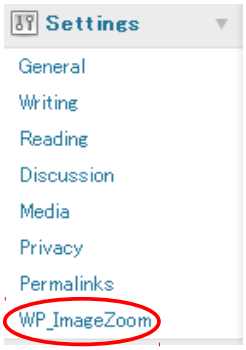
(1)インストール

Wordpress の管理画面にてインストール・有効化する。

(2)設定

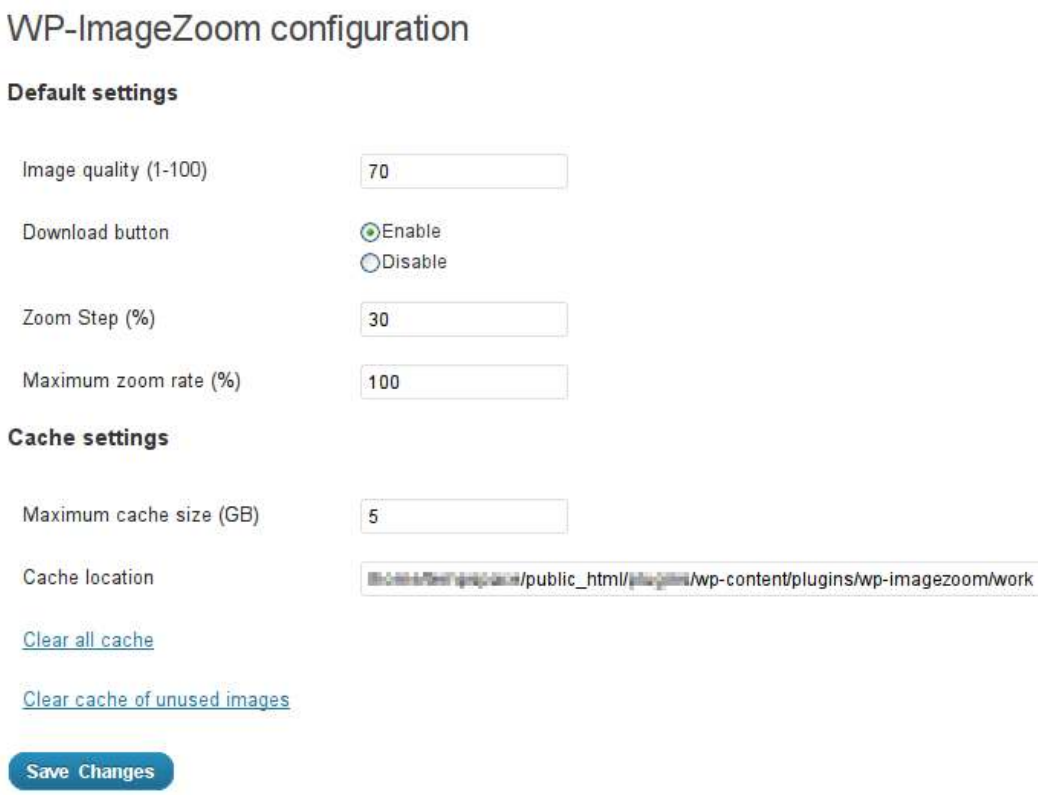
・設定画面への移行

Wordpress 管理画面の~~プラグイン~~設定欄「WP-ImageZoom」をクリックすると、本プラグインの設定画面に移行する。



・設定項目の入力

以下の設定画面に各パラメタを入力し、「Save Change」ボタンを押す。



設定項目の説明

デフォルト設定(Default settings)

項目	説明
Image quality	ズーム用に作成する分割画像の品質。1 から 100 の値を指定する。値が大きいほどオリジナルからの劣化が少ないが、データのサイズが大きくなる。
Download button	ダウンロードボタンの表示／非表示。Enable を選ぶと、ダウンロードボタンを表示し、オリジナル画像のダウンロードが可能になる。
Zoom step	ズームイン・アウトのボタンを一回押す毎の表示サイズの変化率をパーセント単位で指定する。縦横それぞれの辺の長さが指定した割合で変化する。
Maximum zoom rate	最大ズーム倍率をパーセントで指定する。オリジナルの画像の縦横それぞれの長さの指定倍率まで拡大可能となる。

キャッシュ設定

項目	説明
Maximum cache size	キャッシュ容量の最大値を指定する。キャッシュ容量が指定値を超えると、最も長く参照されなかったキャッシュが消去される。
Cache location	キャッシュの格納ディレクトリを指定する。http サーバが書き込み可能なパーミッションで、かつ http サーバがコンテンツとしてアクセスできる場所である必要がある(例：httpdocs 以下、public_html 以下)。
Clear all cache	クリックすると、すべてのキャッシュを消去する。
Clear cache of unused images	クリックすると、記事に用いられていない画像に関係するキャッシュを消去する。

(3)記事への記入方法

サムネールを押すと元画像を表示する HTML を、[izoom] [/izoom]というショートコードで囲む。

(例)

```
[izoom]<a href="オリジナル画像.jpg"><img src="サムネイル.jpg"></a>[/izoom]
```

複数の画像を1つのショートコードで囲むこともできる。

(例)

```
[izoom]
<a href="オリジナル画像 1.jpg"><img src="サムネイル 1.jpg"></a>
<a href="オリジナル画像 2.jpg"><img src="サムネイル 2.jpg"></a>
[/izoom]
```

尚、ショートコード内の HTML は手打ちである必要はなく、Wordpress のエディタで挿入したコードでもよい(id やクラスなど付加情報が記述されていてもよい)。

また、ショートコードにパラメタを追加することで、デフォルトとは異なる設定を画像ごとに付与することができる。

項目	説明	省略時
imagequality	設定画面の「Image quality」と同じ。	設定画面での設定値を使用。
download	″1″:ダウンロードボタン表示。 ″0″:ダウンロードボタン非表示。	設定画面での設定値を使用。
zoomstep	設定画面の「Zoom Step」と同じ。	設定画面での設定値を使用。
maxzoomrate	設定画面の「Max zoom rate」と同じ。	設定画面での設定値を使用。

(例)

```
[izoom imagequality="80" download="0" zoomstep="40" maxzoomrate="200"]
<a href="オリジナル画像.jpg"><img src="サムネイル.jpg"></a>
[/izoom]
```

■注意事項等

- キャッシュの格納ディレクトリは、HTTP サーバが書き込みできるようパーミッションを設定する必要がある。
- キャッシュの格納ディレクトリを変更する際は、キャッシュをクリアしてから行う。変更後に管理画面で一度キャッシュを消去すると、キャッシュディレクトリを変更前に戻したとしても、当該ディレクトリ内の消去はできない (その場合は手動で消去する) 。
- 何らかの理由でキャッシュを手動で消したとしても動作には差し支えない。
- キャッシュディレクトリは、デフォルトではプラグインのディレクトリ内になっているが、この状態ではプラグインの自動更新をしたときにキャッシュが消えてしまうため、別のディレクトリを指定することが望ましい。
- サイト閲覧者が快適にアクセスできるよう、キャッシュ容量はすべての画像のキャッシュを格納できる程度に十分大きく取ることが望ましい。
- 扱える画像の大きさは、PHP が扱えるメモリの大きさに依存する。